

→ UO スキル / 魔法使い

PDFJ::Text=HASH(0xb7afaab8) 織成呪文 (SW)

- ・ 難易度制
- ・ スキル遅延 呪文により個別
- ・ プライマリステータス：INT
- ・ セカンダリステータス：STR
- ・ (クエストにより覚える)

UO:ML で追加された魔法を扱うためのスキルです。この魔法を使う人のことは "アーケニスト (Arcanist)" と呼ぶようです。織成呪文は他の魔法と比べると、非常に変わっている部分が多いです。魔法は全部で 16 個、サークルに分かれておらず、各呪文ごとに難易度が決まっています。スキル値に応じた呪文を使えば、スキルは上がっていきます。使っても、武器の装備は外れません。

メイジ呪文やネクロマンシー呪文と異なり、使うために必要なのはマナのみです。呪文効果としては、後ほど詳しく取り上げますが、単独使用では真価が発揮されません。同じレベルのアーケニストがせめて 2 人でもいれば・・・それでも独特の効果の呪文が多く、使っていて楽しい系統ではあります。

こちらが織成呪文の呪文一覧です。

■ すぐには使えません

・・・が、まず実際に使えるようにするために、エルフの街ハートウッドでクエストを達成しなければなりません。このクエストでは、幾つかのアイテムを集めることのほか、exodus overseer 5 匹と exodus minion 2 匹を倒す必要があります。これらはエクソダス関連のモンスターということで、イルシェナーの中央エリアにあるエクソダス城に出現します (かつては背徳のダンジョンの一つ "ロング" にも出現したのですが、今はいないようです)。相応に戦いの心得のある人でなければ危険なので、赴くときはご注意ください。

赤ネーム PC の場合はサンクチュアリ (UO:ML で追加されたダンジョンですね) で別のクエストを達成することにより使用可能になります。こちらの場合は、最終的にヒューマン NPC (野盗など) を倒して得られる Severed Human Ears が 30 個必要になります。

クエストを完了してスキルと呪文書を得たとしても「書写」で scroll は作成できないので、「宝珠の守人 (UO:ML)」で追加されたモンスターを倒して scroll を集めないと、呪文書は完成できません。

別のクエストを達成しなければ使用できない呪文もあります。

Summon Fey(A) はピクシーを召喚する魔法で、ハートウッドでクエストを受けてピクシーの Arielle に会いに行く必要があります。彼女はイルシェナー霊性の森にいますが、マイナスカルマの人だと生還はほぼ不可能なので、その救済策として フェルツカ "献身" の神殿にも現われます。

Summon Fiend(A) はインプを召喚する魔法で、サンクチュアリでクエストを受け、何度かサンクチュアリを行き来しなければなりません。imp 50 匹、orc captain を (恐らくは) 何体かと arcane

daemon(エクソダスにいますね)を倒さなければなりません。

色々と手間を掛けて使用可能になる2つの呪文ですが、その苦勞の甲斐があるとはとても思えないのが残念無念です。召還されたピクシーやインプが格闘戦ではなく魔法攻撃に特化してくれば、魔法の砲台として使えるのですけどねえ・・(それだと強力過ぎるのかもしれませんが・・)。

■ Arcane Focus

織成呪文の魔法効果には Arcane Focus の強度が大きく関わります。これは魔法陣の上に同程度の「織成呪文」スキルを持った人がいる状態で Arcane Circle(A) により得られます。その時魔法陣の上にいた人数が Arcane Focus の強度となり、2～6までとなります。PUB54以降1人では使用できなくなったため、強度1のものは作れなくなりました。

この Arcane Focus の強度は、織成呪文の効果範囲・効果時間・与えるダメージなどあらゆる効果に影響します。正直、強度は3以上・・できれば5は無いと、魔法としての実力を発揮できないように思います。

Arcane Focus は魔法陣の上にいた全員が受け取ります。時間が経過することで消滅するほか、バックバックの第1階層から動かすことは出来ません(つまり他人には渡せない)。すでに持っていたときは、後から作られたもので上書きされてしまうので注意しましょう。

実際に Arcane Circle(A) を唱える者と、魔法陣の上にいる他者とで「織成呪文」のスキルに20を超える差がある場合、そもそも有効な Arcane Focus が作れないので、スキルが上がるほど作成自体が悩ましくなります(最初はヒューマンならスキルなしでも作成に携われるのですが・・)。同じようにスキルを上げている知り合いの存在が必須と言えますね。・・それが開発者の意図でもあるのでしょうか。

■ アーケイン呪文概論

織成呪文も他の魔法とは違う独特の効果を持った魔法が多いです。Gift of Renewal は徐々にHPが回復できるほか、最初に賭けた時点で毒を受けていたら解毒もしてくれます。Gift of Life はあらかじめ掛けておけば死んだ時に蘇生できるという呪文で、ペットにも掛けられるという特徴があります。ただ・・その場での蘇生なのでレスキルの可能性も高くなりそうですが・・。

戦う時に役に立ちそうな呪文も幾つかあります。Attunement を掛けておけば、受けるダメージを文字通り軽減できます。Immolating Weapon は炎の追加ダメージを武器に付与します。Arcane Empowerment は「織成呪文」に限らず呪文効果を強化します。

Dryad Allure は亜人間種族限定で魅了して従者に出来るというもので、ogre lordやtitanあたりを従者に出来れば、かなりの戦力として期待できます。Nature's Fury は物理以外の耐性が皆無なのに気をつければ、EVやBSの代わりとして充分使えます。

変身系も独特です。Ethereal Voyage は見た目をミーアに変身させ、その間敵からタゲられなくなります。Reaper Form はフィールドにいるreaperとは別の姿に変身し、移動速度は落ちますが近接戦闘能力が上がります。

ただ、惜しむらくは攻撃魔法の効果が微妙・・ということでしょうか。Arcane Focus の強度が高い時を見ていないので、そう感じるのかもしれませんが・・。

Thunderstorm(A) は自分の周囲にエネルギー属性のダメージを与え、キャストリカバリを6減少の追加効果を与えます(「耐性」で追加効果を受ける確率は抑えられます)。

Essence of Wind(A) は自分の周囲に冷氣属性のダメージを与え、攻撃速度-1%・ファストキャスト-1の追加効果を与えます(「耐性」で追加効果を受ける確率は抑えられます)。

Wildfire(A) は、かなり広範囲に炎属性のダメージを与えるフィールドを張りますが、フィールドの中でダメージを受けるものが多いほど分散してしまい、かなり微妙な攻撃力です。

Word of Death(A) は難度が高いですが、一番頼りになるかもしれません

UO の魔法全体におけるアーケニスト呪文の位置づけについては、こちらでも解説しています (このページと被るものも多いですが・・・)

→ UO スキル / 魔法使い
